

# 日常生活 相笠昌義展

2024.6.24mon. → 7.26fri.

第431回 めましんストリートギャラリー



《あるく人・夏から冬へ》 20F 油彩 2018年

Daily Life-AIGASA Masayoshi



《昭和追想 紙芝居図》 20M 油彩 2020年



《昭和追想 私の少年時代》 20P 油彩 2018年



《富士を見る人 秋》 20M 油彩 2009年



《こども時代》 30P 油彩 2004年



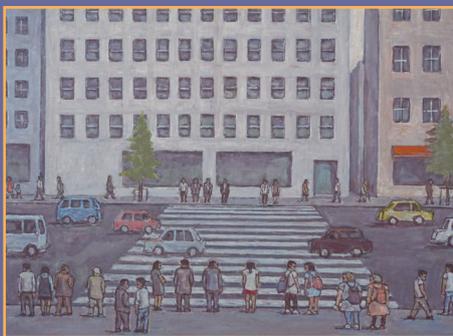
《西洋海水浴図》 20M 油彩 2014年



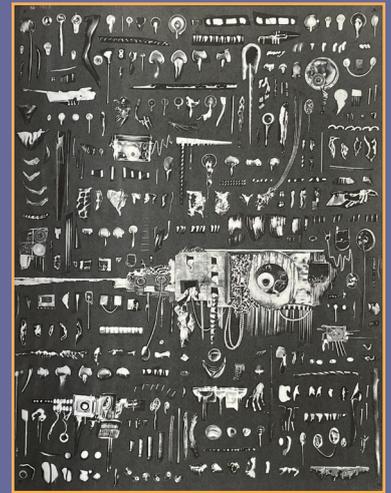
《新型コロナ時代 あるく人》 20P 油彩 2022年



《冬こども図》 6F 油彩 2013年



《都会風景(夏)交差点》 20P 油彩 2018年



《文明嫌悪症・標本収集癖》 63.0 x 48.0  
コラージュ 1964年



《駅にて夜》 29.5 x 60.0 エッチング

## 相笠 昌義

AIGASA MASAYOSHI (1939- )



- 1939年 東京日本橋に生まれる
- 1962年 東京芸術大学油絵科卒業
- 1965年 第9回シエル美術賞展 佳作
- 1971年 第15回シエル美術賞展 三等賞
- 1978年 第1回日本版画大賞展 松屋賞
- 1979年 第1回日本秀作美術展／芸術選奨文部大臣新人賞  
文化庁派遣芸術家在外研修員としてスペインに滞在
- 1982年 第25回安井賞展 安井賞受賞
- 1984年 第1回日本青年画家展 優秀賞
- 1985年 第1回具象ビエンナーレ展
- 1987年 相笠昌義その世界展 (伊東市・池田 20世紀美術館)
- 1989年～2008年 多摩美術大学教授
- 2004年 町田市立国際版画美術館にて個展
- 2005年 東京オペラシティアートギャラリーにて個展
- 2008年 損保ジャパン東郷青児美術館大賞を受賞  
以降、美術館等で個展多数

現在 多摩美術大学名誉教授 日本美術家連盟委員  
 作品収蔵 文化庁 東京国立近代美術館 京都国立近代美術館  
 東京都美術館 神奈川県立近代美術館  
 東京オペラシティアートギャラリー 早稲田大学 他

# Daily Life-AIGASA Masayoshi

### 相笠昌義さんのこと

相笠昌義さんとの出会いは作品だった。1960年代だった。「文明嫌悪症」のシリーズで機械、もの、人あるいは都市がコラージュされていた。それらの部分がまるでひとつひとつ、形の言葉のようで、組み合わせると不思議な感覚を喚起した。シリーズの「日常生活」「女々々々(又はお尻のある風景)」はメタファの迷宮だった。時に詩的、ユーモラスに。

やがて70年代に入ると「人」が全面に登場。ギリシャ劇のコーラスのように人々が歩みを止めて静止しているかのようだ。じっと相笠さんの眼差しが注がれる。静止ではなく対象をみつめ、絵にして行く時間が画面の中で同時進行しているのだ。日常の光景を相笠さんは捉えているが、そこに甘さはない。実在して生きている人々の実体が伝わってくる。どこにも美化や、強調はなく何かが付加加えられることもない。それは動物たちに注がれるのと人に向けられる視線が同質なのだ。淡々と通行人やホームに立つ人たちの所作は気づかなかつたし、絵にしてこなかったテーマだ。

初めて相笠さんと会ったのは1980年7月28日であった。マドリッドのプラサマヨールのアトリエだった。これは旧市街のど真ん中の私の知らない生活で、そこに訪ねてくる人々は青年あり、土地の老人あり、音楽家、画家ありで全員が相笠さんのモデルでもあった。画家にとって、こうありたいと思う日々だった。

次の日もその次の日も会い、アラゴンを描く旅行に出ることになった。道具一式を持って8月2日の朝の急行に乗ってアラゴン地方のカラタユ(Calatayud)へ。古い回教時代の記憶の町だった。ホテルは繁華街から離れた地にあり。道すがらどこも絵になるところだった。穴居住宅のある丘が気になり描き始めた。坂の下を馬車が通り過ぎる。突然相笠さんは目をらんらんと輝かせて馬の残したものに突進。一瞬体調に変調をきたしたのかと思ったほどだ。でも馬糞まみれで一匹の糞虫をかざしてくれて納得した。彼は大好きな甲虫となると少年になり又デッサンに戻るとボクサーの目となる。鋭く次の動作を予測して逃さないよう捉えるのだ。やがてパンをちぎって土地のワインと昼食ということになった。幾分馬の匂いのするパンを口にしながら至福の気分を味わった。忘れがちで最も大切なもの「とらえる」ことを示してくれたのだと思う。ある硬質さと見る対象への誠実さが相笠さんの表現を貫いているのだと思う。

飯野 健 (日本芸術院会員 府中市美術館館長)



沼津信用金庫本店 〒410-8610 沼津市大手町5-6-16  
TEL 055-962-5200

沼津信用金庫本店のウィンドウギャラリー  
JR沼津駅南口より徒歩5分/夜10時までライトアップ



ぬましんストリートギャラリー  
<https://www.numashin.co.jp/street/>